



なかがみの郷

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう

君が代は 千代に八千代に

さざれ石の いわおとなりて

こけのむすまで

第20号

平成28年

12月15日発行

奈加美神社

泉佐野市中庄 834
電話 462-7080

御朱印めぐりのすすめ

近年、御朱印帳を手に参拝される方が増えており、この奈加美神社にも関東や九州地方など、遠方より訪れる方もおられます。

御朱印と言えはお寺の「西国三十三所」や「四国八十八箇所」などの巡礼が有名ですが、神社においても「諸国一の宮」の巡拝など広く行われております。

お経を書き写して社寺に納めることを「納経」と言いますが、その際にその証しとして朱印を授与するようになったのが御朱印の始まりとされています。江戸時代の御朱印の記録も残されていますが、近代に鉄道が発達して交通の利便性が良くなり、大正時代の頃から広く行われるようになりました。

そして現代、その御朱印めぐりが注目され、大きなブームとなっております。神社仏閣は日本全国いたる所にございます。地元大阪の神社を巡るもよし。生涯をかけて諸国一の宮の神社を巡るもよし。行く旅先の神社にふとお参りするもよし。色々な出会いや発見があるはずですよ。

神社それぞれにご祭神やご由緒も違いますし、社殿、鳥居、狛犬、燈籠なども様々な様式があります。そしてその神社の佇まいや鎮守の杜、四季折々の草花な

ど五感で体感し、楽しく巡拝頂ければ嬉しく思います。

今回、当社におきましても参拝者からのご要望にお応えし、オリジナルの御朱印帳を新調いたしました。天然木に神紋の「なかがみ藤（藤巴）」と社名を配し、裏面には泉州水なすをモチーフにした「成就なす」を配しました。レーザーの焼印

を施していますので大変綺麗に仕上がっています。天然木の温もり、木目も一冊ずつ異なりますのでそれぞれ個性があります。

この機に氏神さまで御朱印帳をお求め頂き、御朱印めぐりを始められてはいかがでしょうか。お正月より授与させて頂きますので宜しくお願いたします。



新作の奈加美神社オリジナル御朱印帳
初穂料1500円（お正月より授与いたします）



酉年（神鶏）



当社では毎年の干支に因んで、和泉市にお住まいの藤原祐寛先生に手描きの絵馬を奉納頂いております。藤原祐寛先生は高野山の画僧であり、お寺の壁画や天井画も手掛けられるなど、幅広くご活躍されております。

今年には江戸時代に活躍した日本画家・伊藤若冲の生誕三百年の節目でしたので、尾長鶏を若冲風に描いて頂きました。羽根の尾が鳳凰のように躍動的で大変美しい仕上がりになっております。

平成二十九年は丁酉（ひのととり）の年となります。鶏は神社とは縁の深い動

物で、古くは古事記の神話にも登場します。有名な「天の岩屋戸」のお話です。

神代の昔、天照大御神（あまてらすおみかみ）が治める天上界・高天原（たかまのほら）で弟の速須左之男命（はやすさのおのみこと）が様々な乱暴狼藉を犯しました。困り果てた天照大御神は天の岩屋戸に隠れ引きこもってしまいます。太陽神である天照大御神がお姿を隠したので、天上も地上も暗闇に閉ざされてあらゆる災いが起こりました。

そこで八百万の神々が集って相談し、知恵の神・思金神（おもいかねのかみ）の発案により、常世の長鳴鳥（ながなきどり）を集めて鳴かせしめ、神々により祭りが行われます。そして天宇受売命（あめのうづめのみこと）が神がかりして踊りました。その踊る姿があまりにもおかしかったので、八百万の神々が大笑いしました。天照大御神は外の賑やかな様子を不思議に思い、岩屋の戸を少し開けました。そこに鏡をかざして天照大御神の姿を映し出し、いよいよ不思議に思われて戸から出たところ、天手力男神（あめのたぢからのおのかみ）が手を取って引き出すと、再び世界に光がよみがえりました。そしてそこに尻久米縄（しりくめなわ）

を張り、天照大御神が岩屋戸に戻れないようにしました。

「わかりやすい神道の歴史より」

この古事記の神話に登場する常世の長鳴鳥こそが鶏のことであり、天宇受売命の踊りが、神楽・舞踊のルーツであり、尻久米縄がしめ縄のルーツなのです。古事記や日本書紀には日本の起源や日本人の考え方、心のあり方が記されています。現在神社で行われている神事も、この天の岩屋戸の前で神々が行われた祭りに基づいて行われています。

去る平成二十五年には伊勢の神宮において第六十二回式年遷宮が行われました。その際、幸運にも外宮の遷御の儀に参列員として参列させて頂くことができました。外宮の神域の森の木々の静けさや、秋虫の風情漂う浄暗（じようあん）：清らかな闇夜）の午後八時、神職が鶏鳴三声。

「カケーロー……カケーロー……カケーロー……」と鶏が時を告げるよう声を上げ、浄闇の神域に響きわたりました。これを合図に大御神が新宮へと厳かにお遷りになりました。

このように神代の神話が今の世にも脈々と受け継がれていることに、日本の国の伝統の素晴らしさやありがたさを感じることができます。

鎮守の杜(もり)

神社は全国津々浦々に鎮座しますが、そこには必ずと言っていいほど森があります。それは「鎮守の杜」と言います。

人々は遠い昔から自然そのものに対して神を感じ、神祀りを行ってきました。

「杜」と書いて「もり」とも読みますし、古くは「やしろ」とも読み、人々の集まる所、と言う意味があります。人は木々が豊かに生える所を選んで神を祀り、そして集い、祭りを行ってきました。

奈加美神社にも豊かな鎮守の杜がございますし、この地に神社が祀られているということにも大切な意味があるでしょう。



拝殿左側のクロガネモチ

鎮守の杜を形成する樹種は地域によって異なりますが、ほとんどが常緑樹で形成されています。当社の場合にはクロガネモチ、クスを主体に、モチノキ、ヤブツバキ、ヤブニツケイ、カクレミノ、ミミズバイ、クロバイ、アラカシ、エノキなどにより形成されています。

その他、これからの鎮守の杜の育成に、常緑樹のホルトノキやタブノキ、綺麗な花を咲かすフジやサクラなどの植樹も行っています。

境内の維持管理は落ち葉の処理や枯れ木の処分など、大変なことも多いですが、次の世代に良いかたちで引き継いで行くべく努めております。

奈加美神社は日新校区の氏神であり、氏子皆さんの神社です。日々のお掃除などのご奉仕も受付しておりますので、宜しくお願い申し上げます。

こぼれ話

これらの季節、クロガネモチの実が真っ赤に染まります。南天の実などはすぐに鳥についばまれてしまいますが、クロガネモチの実は比較的長持ちします。というのも、鳥たちにはあまりご馳走ではないそうで、最後まで残ってしまうということです。

懐かしの写真 〜湊の地車〜



なかみの郷第十八号で、懐かしの写真を募集させて頂きましたところ、湊の谷豊一氏から湊の地車の写真を頂きました。

「なかみの昔を明日に伝える会」の記録によると、写真の地車は昭和七年頃に岸和田の大手町より買い入れたもので、当時の青年団が町内会に相談せずに、夜中に岸和田から曳いてきたそうです。その後、町内会が寄付を集めて一件落着いたという逸話が残されています。湊にはこの大手町から購入した大きめの地車と、明治後期か大正初期に岸和田より購入した小さめの地車がありました。祭りの衰退とともに小さめの地車は昭和二十一年頃に当時の中河内郡の中野に、大きめの地車は昭和三十九年頃に貝塚市水間の馬場にそれぞれ売却となっています。馬場に売却した地車は修理が繰り返され、現在も現役で曳行されています。

写真提供のお願い

奈加美神社に関する昭和四十年以前の写真などございましたら、神社資料として提供頂ければ有難く存じます。ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

安産戌の日まいり

平成29年 安産戌の日表

1月	11日(水) 23日(月)
2月	4日(土) 16日(木) 28日(火)
3月	12日(日) 24日(金)
4月	5日(水) 17日(月) 29日(土)
5月	11日(木) 23日(火)
6月	4日(日) 16日(金) 28日(水)
7月	10日(月) 22日(土)
8月	3日(木) 15日(火) 27日(日)
9月	8日(金) 20日(水)
10月	2日(月) 14日(土) 26日(木)
11月	7日(火) 19日(日)
12月	1日(金) 13日(水) 25日(月)



奈加美神社に伝わる大絵馬
円山応挙の門弟により描かれたもので、神功皇后と
応神天皇を抱く武内宿禰。

当社の主祭神は応神天皇（八幡さま）、そして配祭神には母君の神功皇后がお祀りされており、古事記によると約一八〇〇年前、神功皇后は朝鮮半島に出征した際、お腹に応神天皇を身ごもっており、その時に石を帯の中に巻き付け、帰還後に無事お産みになったことが記されています。このことから神功皇后は安産の神として崇められ、岩田帯の起源にもなったと言われています。

安産祈願は一般的に妊娠五ヶ月の戌の日にお祓いを受け、岩田帯を着帯します。戌の日にお参りするのは犬が多産であり、安産であることに因みます。

目出度く子宝に恵まれた際には、戌の日の安産祈願にお参り下さい。安産御守、岩田帯と共に、普段でも簡易にお使い頂ける腹巻型の腹帯もお授けしております。お電話でのご予約をお願いします。

今後の行事予定

十二月三十一日 師走の大祓・歳末神恩感謝祭
一月一日・元旦 新春特別奉納行事
(川崎貴久氏による尺八・琴・和太鼓の奉納)
一月九日・十一日 十日戎神事・吉兆授与
二月三日節分 厄除け・家内安全ご祈祷奉仕



ご祈祷のご案内

お宮参り・安産祈願・七五三
厄除け・車のお祓い・地鎮祭
住宅入居のお祓い、各種お祓い
神道家葬祭・霊祭、神棚の
相談等も受付致しております
お電話にてお問合わせ下さい

公式ホームページ開設
<http://www.nakami.org>